

システム情報工学研究科 社会工学専攻社会工学学位プログラム（博士前期課程）

地域未来創生教育コース

MPPS・コア（選択必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN101	社会工学のための数学	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	3E404	ターンブル ステイヴェン, 安東弘泰, Phung-Duc Tuan	社会工学で必要になる基礎的な数学やその適用手法について網羅的に学ぶ。	
01CN102	資産価格理論	1	2.0	1・2	夏季休業中	集中	3E404	石川 竜一郎, 大久保 正勝	金融市場や金融機関の基本的役割、およびそれに参加する主体の意思決定に付随する分析の枠組みを学ぶ。	
01CN103	社会シミュレーション	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	3E404	秋山 英三, 佐野幸恵	社会シミュレーションは、経済、経営、都市交通など、社会科学の多くの分野で活用されている。本講義では、社会シミュレーションの基礎的な手法とその応用について、事例・実例を交えながら概説する。	
01CN104	ゲーム理論	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3E404	澤 亮治, 阿武 秀和	前半は澤が非協力ゲームの基礎を講義する。後半は阿武がベイジアンゲームとメカニズムデザインを講義する。	(前半) 要望があれば英語で説明(講義資料は英語)、(後半)すべて英語で行う。
01CN105	統計分析	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	3E404	小西 祥文	統計分析ソフトウェア「STATA」を用いて、統計的因果推論に準じたデータ分析手法を習得する。	01CH741と同一。
01CN106	企業評価論	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	3E404	原田 信行	この科目では、企業評価の考え方、企業分析の基礎、および企業評価に関する特に重要な理論と技術について学ぶ。	
01CN107	制度・政策決定論	1	2.0	1・2	春B 夏季休業中	火3,4 集中	3E404	有田 智一	政府による政策決定プロセス及び制度の役割について理解する。前半5週では、政策過程について概観したあと、日本の行政組織の機構と特徴について論じる。その後、具体的な経済政策等の決定プロセスの変遷や現状について論じる。後半5週では、都市・地域政策を事例として、各種審議会資料、政策報告書等を題材として、政府での政策内容と制度化・政策決定プロセスについて論じる。	
01CN108	都市と環境	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	3E404	谷口 守, 村上 暁信, 雨宮 護	都市計画, 環境計画に臨む者の基礎的知識として、都市計画, 環境計画分野が直面する現在の課題と、専門家としてそれにどう向き合うかについて、具体的なトピックを取り上げながら解説する。都市計画を専門としてこなかった受講生も念頭に置きながら、幅広いトピックと多様な事例の紹介を交えて都市と環境の将来を考える。	
01CN109	空間情報科学	2	2.0	1・2	春AB	木3,4	3E404	渡辺 俊	情報技術を利用した空間のモデル化・分析手法について、その理論から応用までを概観するとともに、具体的なコンピュータ・アプリケーション(ArcGIS)の操作を通じて理解を深める。	01AD426, 01CF307と同一。
01CN110	社会工学ワークショップI	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる基礎的能力を身につける。	
01CN111	社会工学ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる発展的能力を身につける。	

MPPS・地域未来創生（必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN401	自動運転・燃料電池と地域未来創生	1	2.0	1・2	通年	集中		藤川 昌樹, 高原 勇	自動運転や水素社会など自動車の技術革新がもたらす新たな地域経済循環事業とそれらのA. 農業の生産性向上、B. 子育て環境の充実、C. 防災・減災の拠点形成への応用可能性を学びながら、「地域未来創生」の提案と実行可能性を議論する。	
01CN402	モビリティ・ロボティクス・知能化技術と地域未来創生	1	2.0	1・2	通年	集中		藤川 昌樹, 高原 勇	A. 農業の生産性向上、B. 子育て環境の充実、C. 防災・減災の拠点形成においてモビリティ・ロボティクス・知能化技術への応用を促進する社会制度の整備に関する実証的な研究を行い、「地域未来創生」に貢献する。	
01CN403	金融インフラ整備と地域未来創生	1	2.0	1・2	秋AB	集中		吉瀬 章子, 前嶋 陽一	新たな金融インフラの活用によるA. 農業の生産性向上、B. 子育て環境の充実、C. 防災・減災の拠点形成に関連するイノベーション創出の可能性を検討することで、「地域未来創生」の実行可能性を議論する。	
01CN411	地域未来創生アクティブラーニングI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	
01CN412	地域未来創生アクティブラーニングII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN413	地域未来創生アクティブラーニングIII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	

MPPS・資産・資源・空間・環境

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN201	サプライチェーン・マネジメント	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	3E406	倉田 久	サプライチェーン・マネジメント(SCM)を戦略、生産、物流、マーケティング、MISなどの経営活動の諸側面から講義する。	
01CN202	信用リスク論	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	3E406	折原 正訓	企業評価、企業発行証券評価に必要な不可欠な信用リスクについて網羅的に講義する。この講義の理解には連続または離散的確率過程とデリバティブの知識が重要となる。最初の数講義はかなりハードな数学的知識を詰め込む。その後企業発行証券の代表である債券評価、特に構造モデルと還元モデルのいくつかを紹介し、最終的に信用リスクの数学的取り扱いと企業格付けについての理解を深める。	
01CN203	都市リスク管理特論	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	総合B112-1	糸井川 栄一, 谷口 綾子	都市域の地震時における防災性能を計測する代表的事例として東京都の地域危険度測定調査を中心に取り上げ、その評価の仕組みや、地域危険度の公表等を通じた防災都市づくり・まちづくりなどの実態について詳説するとともに、受講者による地域危険度に関するデータ分析と発表を通じて、都市域の地域危険度を低減する方策について議論する。	6/8のみ3B402で実施 01CF301と同一。
01CN204	都市・地域解析学	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	3E404	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光	都市・地域解析の基礎知識を習得し、都市や地域の構成要素の配置や密度をモデル化する技法を身に付ける。身近な応用例を見つけて、取り上げた問題のメカニズムを解明したり、解決策を導いたりすることを行う。作業は2・3名でグループをつくって進める。	01AD440, 01CF305と同一。

MPPS・空間・環境/組織・行動

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN211	都市開発プロジェクト/地域経営論	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	3E404	有田 智一	三菱地所株式会社より招聘した客員教員を中心に、実務経験の豊富な学外の講師より、都市開発プロジェクト・マネジメントに関する最新の事例とその理論について解説する。	
01CN212	公共政策論	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3E404	奥島 真一郎, 牛島 光一	本科目では、経済学的な観点から、公共的課題解決のための政策手段やその評価手法について考察する。前半は、主に環境問題に関する講義と演習、後半は、医療と教育に関する講義と演習が中心となる。公共政策に関する理論、分析手法、具体的知識をバランスよく、かつ、専門的なレベルまで学ぶことが本科目の目標となる。	
01CN213	国際経済分析	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	3E404	Tran Lam Anh Duong, 秋山 英三	本授業では、国際貿易の実際を知ることを出発点とし、輸出・輸入や海外直接投資といった基礎的かつ重要な国際経済統計をはじめに学習する。次に、国際経済学の基本と伝統的な国際貿易モデルを学習する。その上で新しい貿易理論である独占的競争モデルと異なる企業モデルによる貿易政策の効果を分析する。さらに国際収支会計と為替レートについても議論する。なお、授業は日本語により行われるが、資料は英語を用いる。	01DG217と同一。
01CN214	マーケティング・サイエンス	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	3E404	近藤 文代	この授業はマーケティングに関連するデータを統計モデルを用いて分析を行うコースとして位置付ける。回帰モデルを既に知っていることを前提とし、必要に応じて統計的手法を説明する。前半の1時間は講義を行い、後半の1時間は内容に応じてRやエクセルで実際にモデルを構築する。	講義資料は全て英語。講義は英語と日本語で行う。

MPPS・組織・行動/資産・資源

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN221	ビジネス戦略:理論と実践	1	2.0	1・2	秋AB	水5,6	3E404	生稲 史彦, 有馬 澄佳	ビジネスケースや学術論文に基づくディスカッションを行う。ディスカッションを通じて、企業のビジョンや戦略、組織、オペレーションについての理解を深める。	
01CN222	電子商取引	1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	3E404	繆 瑩	電子商取引が既存のビジネスをどのように変えつつあり、新たな企業戦略やビジネスモデルが生まれているかを説明するとともに、電子商取引の基盤である情報システムやネットワーク技術の活用についても説明する。	01CF208と同一。
01CN224	ファイナンス:理論と実践(野村証券講座)	1	2.0	1・2	春C	月・木5,6	3E404	近藤 文代, 黒瀬 雄大	証券会社より講師を招き、ファイナンスの実務的な側面についての講義を行うことで、理論面の理解を深める。具体的には、M&Aや証券化といった投資銀行業務にまつわる話題を中心に扱う予定である。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN225	時系列解析		1	2.0	1・2	秋AB	金5,6 総合B112-1	三崎 広海	投資や保険を含む広い意味での金融に関するリスクを、定量的に計測、評価、管理するための手法について、その概念や数理的技法の基礎を解説する。	10/12のみSB0108で実施 01CF110と同一。 要望があれば英語で授業

MPPS・資産・資源

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN302	投資科学		1	2.0	1・2	秋AB	木5,6 3E406	高野 祐一	投資行動に関する基礎的な理論及び実証分析の手法等を学ぶ。カバーする予定の内容は、平均分散アプローチによるポートフォリオ最適化、Capital Asset Pricing Model (CAPM), Factor Model, Arbitrage Pricing Theory (APT), オプションの価格付け(2項モデル)などである。	確率統計・微積分のしっかりとした知識がある方が望ましい。 01CF112と同一。
01CN303	離散数理		1	2.0	1・2	秋AB	月5,6 3E404	繁野 麻衣子, 八森 正泰	グラフ・ネットワークなどの離散システムの理論や、マトロイド、半順序集合、数え上げなどの組合せ論について論じる。アルゴリズム理論、計算の複雑性についても概観する。	
01CN304	数理最適化理論		1	2.0	1・2	秋AB	金3,4 3E404	吉瀬 章子	この授業では、連続最適化問題を解くための理論とアルゴリズムの基礎を学ぶ。	要望があれば英語で授業

MPPS・空間・環境

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN311	地域科学		1	2.0	1・2	秋AB	月1,2 3C201	太田 充	都市・地域に関する諸問題を分析する際に用いられる地域科学の理論と実証についての講義を行う。理論では、特に都市土地利用、都市規模に関して家計の住宅選択行動をミクロ経済学の手法を用いた分析方法について詳説する。  1. 都市の実際とモデル分析 2. 付け値関数アプローチ 3. 家計の付け値関数 4. 均衡土地利用と最適土地利用 5. 都市集計量と都市規模 6. 都市集積の理由 7. 規模の経済と都市規模 8. 空間相互作用 9. 地域科学と経済統計 10. 空間計量経済学	
01CN312	都市形成史		1	2.0	1・2	春AB	火1,2 3C201	藤川 昌樹, 松原 康介	前近代に成立した都市の構成が、如何なる影響を現状の都市空間に与えているかにつき、事例を示しながら講義する。講義と平行して文献・絵図史料の分析、フィールドワークを行い、参加者みずからが発表する。	01AD424と同一。
01CN313	社会基盤計画学		1	2.0	1・2	秋AB	水1,2 3E404	岡本 直久, 谷口 守, 小林 寛, 橋本 浩良, 松橋 啓介	国土計画・交通計画・地域計画・都市計画の実現手段としての社会基盤の整備と管理に関する課題について考える。 主な講義項目は以下の通り。  ・社会基盤とは(国土・地域・都市・交通計画における役割) ・我が国の社会基盤整備の歴史 ・諸関連計画の体系と今後の方向性 ・社会基盤に関わる最近の話題(維持管理、計画プロセス等)	成績評価の方法は期末試験等による。
01CN314	住環境計画論		1	2.0	1・2	春AB	火5,6 理科系B107	藤井 さやか	人口減少と少子高齢化がいち早く到来している地域を主対象に、地域資源の活用や住民参加による住環境計画・コミュニティ再生手法について、実践事例を交えながら講義し、縮小社会における持続可能な住環境計画手法について考究する。	01AD425と同一。

MPPS・組織・行動

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN321	行動・実験経済学		1	2.0	1・2	秋AB	集中	澤 亮治, 栗野 盛光	行動経済学および実験経済学の概念、方法的基礎について事例を交えて講義を行う。	(前半)すべて英語で行う、(後半)要望があれば英語で説明(講義資料は英語)。 要望があれば英語で授業
01CN322	組織行動論		1	2.0	1・2	秋AB	金3,4 3E406	渡邊 真一郎	組織行動論分野において蓄積されてきた理論を広範囲に学習レビューする。また、データの収集と解析を要する研究計画を立案し実施するのも本コース要件とする。	前提要件: 人間行動の予測についての強い関心と統計学の基礎的知識を有すること。 中間・期末試験および調査研究報告書にもとづく総合評価を行う。 英語の教材のみを使用する。講義について英語と日本語で重複した説明を行う。
01CN323	消費者行動論		1	2.0	1・2	春AB	金3,4 3E406	石井 健一	社会心理学やコミュニケーション研究の視点から消費者行動に関する研究を紹介する。 授業に関連した実習も行う。	01DR386, 01DR645と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN324	生産・品質管理	1	2.0	1・2	春AB	木3,4	3E208	有馬 澄佳	前後半に分けて、以下2つの内容を実施する。 1)生産・流通管理における問題解決方法を組み立てられる知識とスキルを習得させる。 2)ものづくりに関する品質管理の概観を理解させる。	
01CN325	意思決定理論	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	3B202	中村 豊	不確実性下の意思決定モデルの基礎を学ぶ。初めに、期待効用モデルの基礎を学習した後に、ランク依存型期待効用とプロスペクト理論の基礎を学ぶ。	

MPPS・自由

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN053	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。	02CN051と同時実施。
01CN054	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を実践を通して養う。	02CN052と同時実施。
01CN055	社会学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関連する機関でのインターンシップを行う。	
01CN056	社会学特別講義I	1	2.0	1-3	夏季休業中	集中	3E404	モグシユク オレクサンダー		西暦偶数年度開講。 02CN054と同一。 英語で授業。
01CN057	社会学特別講義II	1	2.0	1-3					計量分析による国際経済比較について講義をおこなう	西暦奇数年度開講。 02CN055と同一。
01CN058	社会学特別講義III	1	2.0	1-3	通年	随時				02CN056と同一。
01CN059	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトに参加し、プロジェクトの進行に寄与できる基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN060	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて、協働のプロセスを管理する基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN061	社会学特別講義IV	1	1.0	1・2	秋AB	集中	3E404		車社会の課題である環境や渋滞対応に関する様々な取り組みや、公共交通・カーシェアをはじめとするモビリティ・ビジネスのサービス産業化について講義する。そのなかで、環境技術、情報通信や自動運転技術に関する基礎的な知識についても解説する。	開講未定 02CN059と同一。
01CN062	社会学特別講義V	1	1.0	1・2		集中				開講未定 02CN060と同一。
01CN063	社会学特別講義VI	1	1.0	1・2	秋C	集中		樋野 公宏	住環境の安全・安心として、防犯などの日常安全、高齢者の安心居住、郊外住宅地のマネジメントについて解説する。	02CN061と同一。
01CN064	社会学特別講義VII	1	1.0	1・2		集中				開講未定 02CN062と同一。
01CN065	社会学特別講義VIII	1	1.0	1・2		集中				開講未定 02CN063と同一。
01CN066	社会学特別講義IX	1	1.0	1・2	秋AB	集中	3E404	高原 勇	水素社会と高度道路交通システムの課題と展望について講義する	02CN064と同一。
01CN067	社会学特別講義X	1	1.0	1・2		集中				開講未定 02CN065と同一。

MPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN001	社会学修士基礎演習I	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための基礎的な知識を習得する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN002	社会学修士基礎演習II	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための専門的な知識を習得する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN003	社会学修士特別演習I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員の指導の下、修士論文を執筆するに当たり必要となる関連する研究のレビューを行う。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN004	社会学修士特別演習II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員及びAG教員に対して、修士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN005	社会学修士特別研究I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員とAG教員に対して、修士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN006	社会学修士特別研究II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した修士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。

※社会学学位プログラム担当教員

吉瀬章子、秋山英三、有田智一、糸井川栄一、イリチュウ美佳、大澤義明、岡本直久、川島宏一、小林寛、近藤美則、繁野麻衣子、鈴木勉、谷口守、張勇兵、堤盛人、中村豊、長谷川洋、藤川昌樹、松橋啓介、繆瑩、村上暁信、米野史健、山野博哉、渡辺俊、渡邊真一郎、雨宮護、安東弘泰、生稲史彦、石井健一、石井儀光、上市秀雄、梅本通孝、大久保正勝、太田充、大西正輝、岡田幸彦、奥島真一郎、甲斐田直子、倉田久、小西祥文、澤亮治、高野祐一、谷口綾子、タナカシヨウ、橋本浩良、八森正泰、原田信行、藤井さやか、松原康介、山本幸子、有馬澄佳、近藤文代、阿武秀和、五十嵐岳、牛島光一、折原正訓、黒瀬雄大、佐野幸恵、フナツアンズ、フドツクワ、三崎広海